

琵琶湖 淀川 アクア辞典

花 flower

土佐堀川、堂島川には生まれた中之島公園に設けられたバラ園の中に咲いているシヨッキングブルと黄昏は、品種改良で生まれた青いバラ。春から初夏にかけて神秘的な淡く青い花を咲かせます。バラ園は各地にありますが、青いバラを咲かせているところは珍しく、まちの中の水辺にひと味ちがう彩りをそえています。



まちを彩る青いバラ シヨッキングブルと黄昏



花のかたちいろいろ サクラ

サクラの中でいちばん親しまれているのは、なんといってもソメイヨシノ。春、琵琶湖疏水の鹿閑橋から山に向かって進むと、ソメイヨシノの花のトンネルに出会います。マキノ町海津から大浦までの湖岸は遅咲きのソメイヨシノの名所。舟の上からの花見も楽しめます。淀川では柴島浄水場の土手や、宇治川、木津川の境に長くのびた背割堤のソメイヨシノも人気の花見スポットです。淀川沿いでは、天満橋から桜宮まで、造幣局のサクラの通り抜けがあまりに有名ですが、こちらの種類は珍しいサトザクラ。ソメイヨシノの花びらががらつあるのに対して、サトザクラは多数の花弁が重なりあっています。あなたはどちらのサクラが好きですか。

写真出典：提供先
ノウルシ/ハマヒルガオ
大阪市立自然史博物館発行
「琵琶湖-おいたちと生物」より
セイヨウカラシナ/ノアザミ
大阪市立自然史博物館
藤井伸二提供

淀川河川公園・問合せ先
河川環境管理財団大阪事務所
TEL:072(38)859
中之島公園・問合せ先
北部方面公園事務所
TEL:06(312)8121

琵琶湖 新発見

D I S C O V E R B I W A K O



湖岸堤はもとも洪水時など琵琶湖の水位が上がった時に、地域を浸水から防ぐ堤防の機能を持っています。湖側には景観を生かした前浜をもうけ、動植物の生息地として、また洪水時の高波をやわらげる目的にも役立てています。美しい自然を育みながら、暮らしを守る役目も果たす湖岸堤は花にも人にもやさしさを届けています。



琵琶湖は世界でも有数の古い歴史を持つ湖として、動植物のゆたかな営みの場になってきました。湖岸堤が整備された今、琵琶湖の水辺は以前にもまして暮らしに身近なものとなり、四季折々の自然にも気軽に触れられるようになってきました。その中から春の花のスポットをあげてみましょう。

草津市の支那地区、山田地区の湖岸堤では、早春を告げるスイセンの群落が花を開きます。咲き乱れる白や黄色の花が周辺の緑に映える眺めがとても印象的。緑地には駐車場もあり、マイカーで訪れる家族連れにも人気があります。安曇川の湖岸堤では春風の到来とともにツクシが顔を出します。タンポポの綿毛が風にふわふわと飛んでいく頃、レンゲも開花。茎の先にいくつも咲き競う小さな花がかわいいですね。春の散策にぜひ訪れたいところです。